

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成19年6月7日

## 【評価実施概要】

事業所番号	0172900516		
法人名	社会福祉法人 群生会		
事業所名	グループホーム ひまわり		
所在地	北海道旭川市錦町18丁目2150番地 (電話) 0166-59-5775		
評価機関名	タンジェント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成19年6月7日	評価確定日	平成19年6月14日

## 【情報提供票より】(平成19年5月20日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)11年11月1日		
ユニット数	1ユニット	利用定員数計	9人
職員数	9人	常勤	9人, 非常勤 1人, 常勤換算 7.5人

### (2) 建物概要

建物構造	モルタル	造り
	1階建ての	~ 1階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	9,000円	その他の経費(月額)	10,000円	
敷金	有(円) 無			
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円) 無		有 / 無	
食材料費	朝食	400円	昼食	400円
	夕食	400円	おやつ	円
	または1日当たり		円	

### (4) 利用者の概要(5月20日現在)

利用者人数	9名	男性	0名	女性	9名
要介護1	1名	要介護2	3名		
要介護3	4名	要介護4	1名		
要介護5			要支援2		
年齢	平均 86.2歳	最低	82歳	最高	99歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	むらい内科クリニック
---------	------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

母体医療法人を中核として、総合複合施設の中で地域に密着した活動が永く地域住民や利用者・家族の信頼も厚い。また、グループホーム協議会の中心的役割を担い地域のケアサービスの質の向上に寄与している。共用空間は、利用者が気になる職員や来訪者の視線や圧迫感などを遮るべく工夫された構造になっており、広い個々の居室には和室のスペースも用意され家族がゆっくり過ごせたり趣味を活かせる場となっている。中庭に出られるようにウッドデッキも配置され、日光浴を楽しめたり利用者同士ゆっくり談笑などできるスペースが用意されている。運営推進会議も評価日現在2回実施され、ターミナルケアなどの意見交換が議事録として取りまとめられている。

## 【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回評価では運営理念の達成度についてあげられていましたが、運営理念の達成の為に具体的な職務姿勢と日々の介助理念を職員間で共有して理念達成の為に目標を設定すると共にその達成度も評価されて、運営推進会議や「ひまわり通信」で広報に取り組みされています。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 自己評価に取り組む中で、評価項目の細目について職員の研修の機会として捉えられケアサービスの質の向上に利用されています。管理者、職員は評価の意義を確認し合い理解が深められています。また、外部評価の結果については家族に報告され改善の機会として取り組まれています。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議は、評価日現在2回実施されています。主な主題については介護保険制度の改正について(地域密着型サービスについて)ターミナルケアと医療連携について感染症対策とその取り組み(ノロウィルス・インフルエンザ対策)ボランティアの受入れについて次回開催の運営推進会議の要望や取り組みについて
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 「ひまわり通信」を定期的に発行して利用者の日常の暮らしぶりやホーム行事参加の様子、職員の紹介、運営推進会議の報告など日頃より家族との関係を大事にして、意見や不安などが言いやすい雰囲気づくりをしています。また、センター方式で家族も参加した利用者一人ひとりの生活歴の把握で、より質の高い介護計画の作成やケアサービスに活かされています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 母体医療法人主催の行事や地域の交通パレード参加を通じて地域の人達との交流が図られています。また、近隣への散歩やスーパーでの買い物、実習生や研修生の積極的な受入れ、「ひまわり通信」の発行や運営推進会議、日常生活を通じて地域との連携が行われ認知症に対する理解や広報に取り組んでいます。

## 2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	運営理念をもとに、職務姿勢及び日々の介助理念をつくりあげ職員は常にそれらを携帯して日常の業務の中で「利用者がその人らしく暮らし続ける」を支えることを互いに確認し合い職員間で共有されている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者、職員は理念の重要性をスタッフミーティングで話し合っている。また、運営理念、職務姿勢、介助理念を達成するために具体的な個々の目標を掲げその達成度について話し合わせフォローアップされている。P-D-C-Aのサイクルが機能する仕組みが整っている。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	母体医療法人を中核として、総合複合施設の中で家族や地域の信頼も厚く交通パレードなど地域の行事に参加したり認知症に対する理解や広報の為に運営推進会議や教室の開催などで地元の人々との交流に努めている。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者、職員は自己評価及び外部評価を実施する意義を良く理解しており、その詳細項目についても日々の業務の中で、活かす取組みがされている。また、自己評価や前回の外部評価結果についてもそれぞれの家族に渡して公表しています。さらに、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議については評価日現在2回開催されている。メンバーは利用者、家族、地域の住民代表、知見を有する有識者、法人理事長及び管理者・職員で構成され「サービス評価と運営推進会議を活かして」等のパンフレットを配布して具体的に取組んでいる。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>管理者は市と運営推進会議の議事についての相談や連携について日々取組んでいる。母体法人を含めて市との連携が深く、またグループホーム協議会などの役員をしていて地域のケアサービスの質の向上に先駆的な役割を果たしている。</p>		
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>「ひまわり通信」で利用者の日常の暮らしぶりや健康状態、スタッフの紹介、運営推進会議の内容などそれぞれの家族にこまめに情報提供して信頼関係が構築されている。また、状態変化については都度電話連絡などで詳細に報告している。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>自己評価・外部評価の結果や運営推進会議の内容について家族に報告して意見を聞く機会を作ったり、来訪時には気軽に話せる雰囲気づくりに取組んだり、苦情相談窓口を明確にして気軽に意見や苦情・相談ができる環境整備に心掛けそれらを運営に反映させている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>「ひまわり通信」での職員の紹介や共用空間で全スタッフの紹介を掲示するなど家族にきめ細かな情報提供をしている。また、管理者は職員の移動などで利用者に影響を与えないように配慮する取組みをしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職員採用時には、オリエンテーション・新人研修その後のフォローアップ研修の実施や母体医療法人での介護・看護の研修を実施している。また、外部研修参加を積極的に奨励して参加者の報告会でフォローアップされたり、送りなど職場内研修やOJTの実施がされ職員を育てる取組みがされている。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>同業者との密なる交流は勿論のこと実践者研修、ヘルパー実習の受入れやグループホーム協議会・研究会での他施設との積極的な交流など開かれたグループホームである。また、協議会の事務局というネットワークの要の役割も担い地域のケアサービスの質の向上に先駆的なグループホームである。</p>		
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>地域に根ざした母体医療法人の中のグループホームであり、利用者及び家族の信頼は厚い。また、入居前には、利用者・家族の見学などで不安を解消する取組みや、場の雰囲気に馴染めるよう相談しながら工夫している。</p>		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>職員も利用者と一緒に食事の準備をしたり、センター方式を利用して利用者の過去の大事な出来事や生活歴を家族と共に協力しながら把握して「私のわかること、私のわからないこと」「私のできること、私のできないこと」をスタッフで共有して本人の気持ちになった支えあう関係を築いている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1.一人ひとりの把握</b>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>センター方式で一人ひとりの「私の気持ち」をスタッフ間で共有して、散歩や買い物、ドライブなど積極的に外出の機会を多く作ったり雑巾縫いや歌唱などの趣味への支援や食事の準備、食の嗜好の把握など本人の希望や意向を尊重した取組みがされている。</p>		
<b>2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>介護計画は、センター方式を元に作成されており、利用者、家族の希望や医師からの助言・情報や職員からの意見を取り入れ具体的な介護計画となっている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護計画書に記載している個別の期間を目安に評価を行い、3ヶ月に一度計画的に見直しが行われています。また、利用者・家族の要望や利用者の状態変化に応じて期間終了前であっても都度、現状に即した介護計画の見直しが行われています。</p>		
<b>3.多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>本人や家族の状況に応じて、通院の支援や要望のある場合には散歩や買い物など柔軟に支援を行っている。また、音楽療法への参加や理美容院への訪問など時々々の要望にも対応されています。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	かかりつけ医の受診支援 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	母体医療法人や利用者それぞれの主治医との連携で気軽に相談できる医師が確保されている。また、利用者、家族の希望や要望に応じて状態変化などについても往診など適切な医療が受けられるよう支援されている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	運営推進会議の中でも重度化した場合や終末期のあり方について議題として取り上げられ話し合われている。医療機関と連携して利用者・家族とも段階的に繰り返し相談し合いながら慎重に検討対応するよう職員間で共有される取組みがされている。		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	記録等の個人情報の扱いについては、個人情報保護法に対応した配慮がされた取組みが行われている。また、利用者一人ひとりの尊厳やプライバシーを尊重して声かけなど支援するよう取組まれています。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	センター方式の「24時間アセスメントシート」で個々の利用者の気持ちが把握され職員間で共有されている。また、一人ひとりの今の気持ちを尊重してスーパーやコンビニでの買い物や食事の準備、掃除の手伝いなど本人の希望やペースに沿って支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員と利用者が本人の希望や力量に応じて一緒になって楽しんで食事の準備をしている。食事中は、利用者の育った年代でお喋りはせず食事をしているが、後片付けをしたり食後のお茶を利用者同士助け合い楽しんで、和やかな雰囲気を醸し出している。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日は基本的に決めているが利用者の希望に応じて対応している。また、ゆっくりとくつろいで入浴が楽しめるように支援されている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	センター方式で一人ひとりの過去の大事な出来事や生活歴が把握され、雑巾縫いや畑での野菜の収穫、メロディベルでの歌唱、掃除、食事の準備、寿司などの外食や買い物、心身のリフレッシュや気分転換のためのドライブなど外出の機会も多くつくられている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	スーパーやコンビニでの買い物、散歩、りんご狩や白鳥見物、公園までの母体法人所有のバスでのドライブなど気分転換や心身のリフレッシュができるように積極的に外出ができるように支援されている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関は、センサーの設置などで鍵をかけないケアに取り組んでいる。利用者が外出する時は、職員がさりげなくついていき安全面で配慮されています。また、利用者の外出傾向も職員間で把握され取組まれています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	防火管理者が配置され、緊急時に全ての職員が速やかに対応ができるように利用者と共に実技を伴う火災避難訓練が年2回実施されています。また、ホットライン・消化設備についても点検が実施され対策されています。		今後は、近隣の住民も参加した火災避難訓練を実施して日頃より協力が得られる働きかけを行う計画がされています。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事中は、利用者同士助け合い微笑ましい食事風景でした。また、具体的な食事摂取量が主食・副食毎に食事摂取表に記録され、栄養バランスやカロリーについてもおおよそ把握され、栄養士の指導・アドバイスも受けて支援されている。		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	広い廊下や居間では、利用者が気になる職員や来訪者の視線や圧迫感を遮るように工夫された構造になっている。また、廊下には椅子やテーブルが配置され一人になったり利用者同士談笑できるスペースが確保され、中庭には管理者手作りのウッドデッキがあり畑作りや日光浴を楽しむことができ季節感や気分転換ができるように配慮された工夫がされている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は、畳の和室も用意され家族との談笑や趣味を楽しめる場となっている。また、仏壇や使い慣れた家具などが持ち込まれ安心して過ごせる場となっていて家族の写真や趣味の紙細工の手作りの人形が飾られ一人ひとりの思いが伝わる空間作りとなっている。		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。